

日本青年会議所近畿地区協議会

24年ぶりの奈良大会

歌に踊りと盛りだくさん、観光客らも参加し大盛況

公益社団法人日本青年会議所近畿地区協議会（東野篤史会長）は14、15の両日、奈良公園登大路園地や、なら100年会館などを会場に、地域の課題解決や活性化を目指す「2024年度近畿地区大会 奈良大会」を開催した。大会は昭和28（1953）年から毎年会場を変え実施。今回は「Inspiring Our Future—あなたと創るKINKIの未来—」をテーマに、奈良県で5回目24年ぶりの大会になった。

大会初日の14日は、奈良公園登大路園地にフェスタステージを置

き、オープニングアクトやバブルショー、DJと盆踊りを融合した「盆ダンス」などを実施。JR奈良駅前からやすらぎの道までの三条通商店街には、近畿2府4県から50店舗以上が参加したショッピング

モールも展開された。

また、奈良公園登大路園地で、奈良青年会議所（胎中謙吾理事長）の主催で、県内の飲食店や事業者などが出店する「まほろばざー2024～探Q島」は、感嘆の声が上がった。

午後2時からの開始を前に強い雨も降ったが、天気持ちなおし、会場から漏れ聞こえるリズムカルな音楽や楽しげな声に、奈良公園周辺を散策していた外国人観光客が多く訪れた。また、大会最後のスカイランタン祭の景色に、感嘆の声が上がった。

オープニングで、大会主管を務めた奈良青年会議所の胎中理事長は「皆さんの『楽しかった』『また『奈良にきたい』』という声が僕たちの明日への第一歩になります。ぜひこのフェスタを楽しんでいただき、そしてまた奈良へお越しください」と話している。



「楽しんでいただき、また奈良へ来てほしい」とあいさつする胎中理事長



「奈良大会がこれからのモデルケースになれば」と語った東野会長



奈良公園登大路園地にフェスタステージを設置



県内の飲食店や事業者などが出店した「まほろばざー2024～探Q島」



三条通商店街には、近畿2府4県から50店舗以上が参加したショッピングモールが展開



アーティストの西城秀樹さんや、アメリカのロックバンド「ボン・ジョヴィ」などの楽曲で踊った「盆ダンス」



500個以上のスカイランタンが上がり、フェスタの最後を締めくくった



次々に出てくるしゃぼん玉に手を伸ばす子どもら



オープニングアクトでは県内で活動するバンドグループらが熱唱



県内のダンス部やスクール生らが踊りを披露